

## 近況報告(現状と課題・取り組み)

## (1)施設部門

## ① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
(1).梅雨から夏にかけての温度変化による体調不良者発生。早めに医師の指示を頂き、対応をしているが、入院される方が増加。	(1).室温調整と換気を実施。退院後の全身状態低下改善に努めている。
(2).職員のOJT体制づくり。新入職員に対する仕組みが不十分。	(2).教える側の基準を整え、誰が教えても同じ内容になるようマニュアルを整備。

## ② ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
(1).一人部屋の入居をすすめる(310号室)。	(1).待機者の整理を実施し、現状を把握し効率的な入退居を行う。
(2).入居者の方対象に満足度調査実施した(8/22~8/27)。	(2).満足度調査の結果を分析し、サービスの質の向上に努める。

## (2)在宅部門

## ① 短期入所生活介護事業所第2清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
(1).医療的連携:看取り期のご利用者の増加。医療処置が必要なご利用者の対応。	(1).訪問看護、かかりつけ医だけでなく、各事業所と連携して役割分担を行っている。
(2).定期利用者の体調不良による入院後の調整	(2).状態不安定による退院の目処や在宅生活の継続困難などありケアマネージャーと調整。

## ② デイサービスセンター第2清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
(1).サービス利用時間が長いご利用者(16:40まで)の夕方の過ごし方について、充実した時間になっているかどうか確認が必要。	(1).夕方の時間帯についての状況を記録し、ご利用者の反応を調査中。8月からプログラム内容を変更し、現状との違いを確認。

## ③ デイサービスセンター第2清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
(1) 介護保険外での参加者増加	(1) 認定を受けておられないが、生活状況をうかがうと、予防の必要性を感じる方もおられるため、参加希望者には基本チェックリストをすすめることとした
(2) 介護保険内の参加者も2名増	(2) 訪問介護員や包括支援センターのすすめで参加された。引き続きPRする。

(3) 出張型のコグニサイズ実践研修を依頼に基づいて実施している	(3) 地御前北二丁目集会所や健康づくり応援団対象に実施の機会をいただいた。社会福祉協議会を通してサロンにもPRする
----------------------------------	--

## ④ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
(1) 登録者数は引き続き安定している。近隣地域の方が気軽に介護相談ができる場となるよう環境面などの改善を図っている。	(1) 暖簾の作成や看板の作成に着手している。暖簾作成後は、近隣の方よりお声を掛けていただく事が増えてきた。

## ⑤ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ)

現状と課題	取り組み
(1) 引き続き、登録者数の確保が課題である。前回報告時より1名の新たな登録があった。	(1) 7月より、以前からあった原則75歳未満の方が対象といった年齢制限の枠を外し受け入れを行っている。

## ⑥ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:ここの音)

現状と課題	取り組み
(1) 2015年末から、ご利用者の入院や入所などで登録者数が激減した。徐々に回復傾向にあるが、入所予定や体調不良の方がおられ、安定していない。	(1) 他居宅介護支援事業所へ利用状況を連絡し、登録者の増加に努めている。

## ⑦ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
(1) 8月より、始まる総合事業を活用できるようにする。	(1) 研修を行い、理解を深める。
(2) 登録ヘルパー増に伴い、報・連・相が難しくなった。	(2) 各自に合わせた連絡方法を考え、変えていく。

## ⑧ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
(1) 単身者、キーパーソン遠方のケースは続いている。支援の為には、民生委員、主治医、地域包括支援センターなどとの連携が必要となっている。	(1) 支援困難事例については、事業所内の会議で情報共有を継続。合わせて、地域包括支援センターに報告、相談を実施。ケースによっては協力下さる地域の方に声を掛ける事も始めている。

## (3) その他

## ① 廿日市市配食サービス

現状と課題	取り組み
(1). ショート利用者でお弁当の必要がなかったが、わからなくて作ってしまった。 (2). 他部署との連携、食事有無の方法等、マニュアル等が必要。	(1). 何でも話せる雰囲気づくり。 (2). 報連相を大切にお互い一声かけあう。

## ② 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
(1). 訪問変更や新規のケースがあっても、訪問可能なやすらぎ支援員が限られているため対応出来ない可能性がある。	(1). 第2回やすらぎ支援員養成基礎研修を定員10名で開催して、確実に訪問可能な支援員を増やす。

## ③ その他(出張介護教室、人材育成、施設行事など)

現状と課題	取り組み
(出張介護教室) (1) 今年度の開催依頼は2件(2016年8月現在)  (人材育成) (1) 階層別研修を計画的に開催、他施設との実習も継続実施	(出張介護教室) (1) 年度も継続して阿品・阿品台地区のサロンを中心に参加させていただくと共に、先方のニーズに応じた内容を立案・提案していく  (人材育成) (1) より意義のある研修となるように、国の定める認知症介護研修の新カリキュラムを参考に、カリキュラムの見直しに着手している。参加職員の事前評価、事後評価、学びの振り返りの時間の導入などは今年度から導入した